

2003年度 放送教育指導者養成講座 レポート(修正分)

第1回 課題 「番組利用の単元プラン作成」

NHK 学校放送 4・5年生向け総合的な学習用番組『川』（「川って知ってる？」）を視聴し、この番組の「主題」を生かした単元プランを作成

宮崎県三股町立勝岡小学校 渡邊 光浩

1 単元名 「水はどこへ？」（4年 総合的な学習の時間 ～環境～）

2 単元のねらい

- 近くの河川やくらしの中の水について調べることを通して、環境問題に関心をもち、水を大切にしようとする。
[関心・意欲]
- 近くの河川の水の状況や自分たちの生活排水の行方を理解することができる。
[知識・理解]
- 番組「川」の視聴や川探検、専門家のお話から自ら課題を見付け、互いに学び合いながら、課題を解決することができる。
[問題解決能力]
- きれいな水を守るために自分たちができることを考え、実践することができる。
[行動力]

3 単元設定の理由

○ 水は、地球で営まれる全ての活動や生命にとって、なくてはならないものである。人間の活動が自然の水循環に与える影響は大きく、水に関する環境教育を行う重要性は高い。本単元は、主に5月社会科「住みよいくらしをささえる」の小単元「水はどこから」での上・下水道についての学習との内容的関連を図り、近くの河川の水の状況や自分たちが水を汚す原因、生活排水が環境に与える影響等について調べ、きれいな水を守るために自分たちができることを考え、実践させていこうとするものである。

三股町では、地下約100メートルを流れる豊かな地下水をくみ上げ、上水道として使っている。一方、下水は、平成17年に処理場が完成予定であるが、現在は一部が合併浄化槽を設置しているだけで、生活排水処理率が22.0%と低い。「宮崎県環境白書」によると、町内を流れる沖水川は、上流においては良好な水質であるのに対して、下流では水質の変動が大きく、環境基準を達成しないことがある。また、沖水川は大淀川に合流するが、その大淀川全体では、都城・三股周辺の中流のみが環境基準を達成していない。生活排水による水質汚濁が大淀川を汚す原因の一つになっていることを知り、水を汚さないために自分たちができることを考えることは、地域や河川流域の環境を守っていこうとする態度を養う上で意義深い。

4 番組利用の意図

○ 番組「川」は、総合的な学習の時間に対応している。20本の番組のうち、初めの8本は川に親しむための刺激を与え、続く7本が川の大きさや不思議、恵みの豊かさなどを語りかけ、最後の5本が川の話をつくらますことを呼びかけるという役割を担っている。本単元を進めるにあたって、過程に合わせた番組の視聴を行うことが、子ども達の学びの道しるべになると考え、継続視聴を行うものである。

また「川」は、総合的な学習の時間と教科との接続を志向した番組である。各教科等との内容的な関連を意識しながら単元を進めるとともに、関連した技能をより高めることができるように視聴を行う。

番組ホームページも活用していく。番組視聴後の疑問や興味に応えるために「とくしゅう」や「お助けリンク集」などを自由に見ることができるようにする。また、技能や知識をより高めることができるように、活動の前や合間に「クリップ」も利用する。さらに、番組の感想を他校と交流したり自分たちが調べたことを発表したりするために「けいじばん」を活用するようにし、学習に広がりを持たせるようにしたい。

なお、社会科の上下水道に関する学習との関連から「くらし探偵団」、環境教育の水という視点から「たった一つの地球」、コミュニケーション能力・情報活用の実践力の育成のために「しらべてまとめて伝えよう」など他番組も併せて視聴し、本単元学習に深まりを持たせるようにしたい。

5 各教科等との関連を生かした単元プラン

他教科等との内容的関連	総合的な学習の時間における活動と児童の意識の流れ	他教科等との技能的関連
川に触れる		
<ul style="list-style-type: none"> ○身近な川調べ ○他教科との関連の具体例 	<p>①川って知ってる？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 川に関する興味・関心を高めるとともに、ホームページの使い方を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見通す力 ○HPの活用の仕方
<p>川っておもしろそう!! ホームページを見てみよう。</p>		<p>「川」の視聴 児童の意識</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○扇状地の水利用 ○海と川の関係 ○川と生活の関わり 	<p>②源流から海へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの暮らしが川と密接に関わっていることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気象観測の方法 ○Web上でのデータの公開・比較
<p>たったひとつの地球 「安全でおいしい水」</p>	<p>わたしたちの近くの川はどうなんだろう？</p> <p>他番組の視聴</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○水を無駄にしない工夫 ○昔の人々の苦勞 ○水源を守るための植林 	<p>④命の水</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水を安定して供給するための苦勞・工夫を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昔と今の比較の仕方 ○グラフの見方
<ul style="list-style-type: none"> ○自然に対する興味・関心 社会「水はどこから」 ↓ ○水に関する知識・理解 社会「水はどこから」 ↓ ○自然への気付き 社会「水はどこから」 	<p>水道について調べたよ。三股町では地下水を飲み水につかっているんだね。 宮崎市では、大淀川の水を飲み水として使っていたね。 飲み水や農業用水を守るためには、多くの苦勞があるんだね。</p>	
<p>くらし探偵団 「水を守る」 「水もれを防ぐ」</p>	<p>1 川のことを知る。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○植物・石を使った工作 ○川原でアート 	<p>③川で創作しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 川や岸辺にあるユニークな素材を使って工夫をし、自由な発想の創造・表現に挑戦させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○川での服装・注意事項 ○活動後の片づけ ○素材を生かした表現
<ul style="list-style-type: none"> ○川探検の仕方 ○亜熱帯の生態系 ○伝えることのおもしろさ 	<p>⑤川探検のレポートをまとめてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ フィールドワークの行い方、まとめ方、伝え方を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○準備・観察の方法 ○メモ等記録の仕方 ○絵や言葉による伝え方
<ul style="list-style-type: none"> ○上・中・下流の違い 	<p>⑥くらべてみよう、川のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ データの比較の仕方やグラフ・表のまとめ方を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○水温・流速・透視度・COD・水生生物の調べ方 ○結果の比較・まとめ方
<ul style="list-style-type: none"> ○魚の住む場所・習性 ○アユの誕生～遡上 	<p>⑦川で育まれる命の営み～魚～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 川にすむ魚はどのように暮らしているのか、魚を見つける方法などを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○魚の捕り方・釣り方
<ul style="list-style-type: none"> ○フライフィッシング ○魚のいる場所 	<p>⑧川で育まれる命の営み～昆虫～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 川の昆虫に対する深い知識が求められるフライフィッシングを通して、川の生命力を感じとらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○虫の一年間（水温との関係）
<p>近くの川に行ってみたいな 川のこと、調べたりまとめたりしてみよう。</p>		

○ 川に探検に行く。
 ・ 川の様子を観察する。
 ・ 生き物をつかまえる。
 ・ 流木をひろう。

○ 自然に対する興味・関心
 図工
 「ひみつのすみか」

川で遊ぶのは楽しいな。
 いろいろな魚や虫がいるんだね。
 川原には、いろいろなものがあるね。
 ごみもあるけど・・・

しらまと
 「デジタルカメラをつ
 かいこなそう」
 「かんさつしてスケッ
 チしよう」
 「ビデオカメラでさつ
 えいしよう」

○ TV 会議で大淀川学習館の人の話を聞く。

都城や三股も大淀川を汚す原因の一つなんだ。
 私たちが使った水の行方はどうなっているの？
 どうしてよごれるのだろう。
 どうやったらきれいになるのだろう。

○話す・聞く力(国)

しらまと
 「取材してじょうほう
 を集めよう」

○問題意識
 ○課題発見力

川に学ぶ

2 学習課題をつくる。

水に関する問題について調べ、自分たちができることを考えよう。

○川をきれいする方法 ○川をきれいにする人々の努力	⑨よみがえる川 ○川をきれいにするための人々の努力を考えさせる。	○昔と今の比較の仕方
○都会の川の様子 ○都市部での洪水 ○自然に戻す川づくり	⑩新しい川づくり ○最近注目されている多自然型工法など新しい川への関わり方を考えさせる。	○インタビューの仕方 ○堤防の高さの計測 ○年代ごとの川の様子と比較
○湿原の生態系 ○湿原と海の関係 ○自然と人間の共存	⑪湿原を守る～川が育む自然～ ○生態系の仕組みを知るとともに、貴重な自然を守るためには何が必要か、考えさせる。	○博物館・ガイドの活用 ○泥炭の重量の計算
○川と森の関係 ○川のために森を守る人々	⑫川を守る～森林～ ○水源地や流域の森を守るために自分に何ができるのかを考えさせる。	○水温の測定 ○水の透明度の観察 ○土の保水力の実験
○1日使う水の量 ○下水処理施設 ○水を汚さない工夫	⑮使った食器をどう洗う ○毎日の暮らしが生活に与える影響を減らす工夫を調べ、考えさせる。	○牛乳・油による水の汚れを調べる実験

わたしたちのまわりではどんなことが行われているのだろう。
 自分たちができることはどんなこと？

○ 探検や学習館の人の話、番組視聴をもとに調べることを決める。 ←

・ 汚れる原因
 ・ きれいにする方法
 ・ 沖水川や花の木川と大淀川の生き物の違い 等

何について調べようかな。

○課題設定力

3 学習計画を立てる。 ←

○ 調べる方法
 ○ まとめる方法
 ○ グルーピング

どんな方法で調べて、どうやってまとめようかな。
 前と違う方法で挑戦しよう。

○見通す力

4 課題別グループごとに調べ、まとめる。 ←

- 調べ方
 - ・ フィールドワーク
 - ・ 本
 - ・ インターネット
 - ・ 電話
 - ・ 手紙
 - ・ インタビュー 等
- まとめ方
 - ・ 壁新聞
 - ・ パソコン
 - ・ 紙芝居 等

友達と調べるのは楽しいな。
三股町のことは、役場の人に尋ねるといいな。
川の水はきれいなのかな。もっと詳しく調べよう。
大淀川のこと分からないな。もう一度大淀川学習館の人とTV会議をして質問したい。
1学期○○さんのまとめ方はよかったな。

○情報収集力
○話す・聞く力(国)
○書く力(国)
○資料活用(社)
○表現・処理(算)
○情報選択力
○創造的表現力

しらまと
「インターネットで調べよう」
「手紙を書こう」
「テレビ電話で交流しよう」

5 まとめたことを発表する。 ←

家でできることも多いね。家族に教えよう。
あのグループ、発表が上手だな。

○話す・聞く力(国)

しらまと
「発表の名人になろう」

川に働きかける

6 調べたことをもとに、今後自分たちにできることを話し合う。 ←

○話す・聞く力(国)

○川のためにできること ○地域に活動を広げる	⑩川サミットで話し合おう ○自分たちが川とどうつきあっていけばいいか考え、自分たちの意見を発展させる。 ・ 食器の油污れはまず紙等で拭く。 ・ 洗剤などはきちんと計って使う。 等	○サミットの進め方 ○プレゼンによる発表 ○掲示板による交流校探し
きれいな水のために、自分たちは何ができるかな。 参観日で聞いてもらったから、家の人と一緒にやってみよう。 学校や地域、全国のみんなにもできることを伝えたいな。		

7 話し合いで決まったことを実践する。 ←

- ポスターを作る。
- チラシを作る。
- Webを作る。

○企画力
○実践意欲

8 学習を振り返る。

○川の楽しみ ○川と生活の関わり ○活動のその後	⑫生活と文化を育む川 ○自分がこれからどんな形で川と関わっていくのかを考えさせる。 ○自己評価をする。 ← ○相互評価をする。 ← ○継続的な実践意欲をもつ。 ←	○年間の活動の振り返り ○他校との交流の仕方 ○自己評価力 ○相互評価力 ○実践意欲
○自然愛護 ← 道徳「ほたるこーい」		
ちょっとしたことで水はきれいになるんだね。 これからも川を汚さないようにしたいな。 また川に行ってみよう。		